

異文化間コミュニケーション 研究法入門

Introduction to cross-cultural communications
& research method

③言語コミュニケーション

H20年度前期群馬大学教養科目
担当：園田智子（群馬大学留学生センター専任講師
留学生アドバイザー）

1. ほめ方

あなたならどう答えますか？

A:本当に歌が上手ですね。すばらしかったです。(能力)

B:

A:あなたはいつも明るく周りの人への気配りがいきとどいてすばらしい方だと思っていました。(性格)

B:

A:いつも素敵な着こなしをしてらっしゃいますね。(趣味・趣向)

B:

A: Oh! Your English is very good!

B:

「日本人は卑屈である？」

いえいえ。とんでもない…

いやあ、まだまだですよ…

わたしなんかぜんぜん…

「日本人は奥さんを侮辱している？」

うちのは気が利かなくて…

うちの馬鹿息子が…

Point1: 低文脈文化である欧米ではよりよい人間関係を築くためにコミュニケーションが必要であるため、言葉のやり取りを多くする必要がある。→たくさんほめる。一方高文脈文化である日本では意味背景から情報を読み取ることが重要とされており、言葉でほめなくてもわかってくれるという暗黙の了解がある。

Point2: ほめるという行動は大勢の中からある人に焦点をあてる行動であり、集団主義的な日本では、一人だけ他の人と目立つということをさげよとする傾向がある。自分だけほめられると自分だけが目立ってしまうとおもってしまうことも考えられる。

? あなたはどのくらいほめたりほめられたりしていますか？
一隣の人とほめあってみましょう。そのとき、どんな気持ちでしょうか。

2. しかり方

お母さんが泣いている小さな子供に話しています。口にはどんな言葉が入るでしょうか？

A: けんちゃん、そんなに大きな声で泣いちゃだめよ。恥ずかしいでしょう。みんな

B: かんがえてごらんさい。

行動の善悪について

B価値判断は「個人を中心」に考える。アメリカ人の母親の例

A「他人にどう評価されるか」を規範にする。日本人の母親の例

3 あやまり方

アメリカ人のスピーチは_____で始まり、

日本人のスピーチは_____ではじまる。

アメリカ人から見た日本人

「あやまる必要のないことにもいつもあやまっているように見える。成熟した大人が謝ってばかりいるのは自分を卑下しているように見える。」

日本人の見たアメリカ人

「自分の過失を認めるのを嫌がってめったにあやまりたがらない。たとえ自分が会議に遅れても言い訳をして理由を正当化しようとする。」

? 皆さんはどのくらい謝りますか？「すみません」「ごめん」「ごめんさい」

4. 誘い方・断り方

誘う、断るにもいろんなすれちがいがあります。

事例1:「ぜひ、一度うちにきてくださいね。」
日本人の友人にそういわれたので、ある日、直接その人のうちに行ったら、すごく迷惑そうな顔で、「え?どうして今日来たの?」といわれた。彼女は私にうそをついたのだと思って悲しくなった。

事例2:「急に言われたら困ります」
留学生の友人を今夜の飲み会に誘ったら、「今夜はいけません。そんなに急に言われたらこまります。もっと早く言って下さい。」といわれた。いけないならいけないで、今日はちょっと用事があるんだといってくればいいのに、拒否されて文句を言われた気がしてすごくいやな気分だ。今度から彼は絶対に誘わない。

事例3:「なぜこなかったの?」

同僚のT人のA先生をさそって、明日、一緒に昼ごはんを食べることにした。約束の時間に待ち合わせ場所で待っていたが、彼女は1時間過ぎても来なかった。翌日「なぜこなかったの?」と聞いたが、「断ったら悪いと思って、、」といわれた。なんだか、もう、誰を誘っても信じられない感じがしてきた。

個人主義と集団主義

「集団主義」とは?

密につながった人々によって構成された社会的パターンであり、その中では個人は自分を単数あるいは複数の集団(家族・同僚・会社・部族・国家など)の一部であると定義しており集団の持つ規範や義務が行動のよりどころである。個人よりも集団の利益や目標を優先し、集団の中の連帯感を重視する。

「個人主義」とは?

人と人との結びつきは弱く、個人は集団から独立しているとみなしている。基本的に個人の好み、要求、権利、他の人と交わした契約によって行動し、他人より自分の利益や目標を優先する。人との付き合いにも+や-を合理的に分析し、アイデンティティーは常に「私」にある。